

市民に対して丁寧な説明を!!

青木 佑介
(市民自治フォーラム)



【質問】 キャッシュレス決済ポイント還元事業について、①中止になった説明会の内容は、②高齢者への対応は。
【答弁】 ①アプリのダウンロード、アカウント登録、チャージ方法を説明する予定だった。②アプリ登録方法に関してはカスタマーサポートを案内するが、可能な範囲で市職員が対応している。

【質問】 白山公園の整備について、黒目川の50ミリ対応を待つのならA案ではなく、平成12年に市民委員・学識経験者・体育関係者を含めた懇談会から出された東久留米市白山公園将来計画検討結果報告書をベースにすべきでは。
【答弁】 同報告書は財政危機宣言下で整備計画まで至らなかった。平成18年には都から50ミリ対応の計画が出された。大雨や台風など気候変化も生じている。そのようなことも踏まえ、将来50ミリ対応の見通しが立った時点でA案をベースに検討する必要がある。

子どもの安全を最優先に市政運営を

問宮 美季
(市民自治フォーラム)



【質問】 児童保育所で陽性者が増えてきたそのとき、広報8月1日号に児童保育所運営業務委託事業者募集の記事が掲載された。来春に向け委託を押し進めれば、現場はその準備に追われる。今は、子どもたちの安全に全精力を傾注すべき。委託の導入は、一旦立ち止まり、延期することを求めるが見解は。
【答弁】 同事業者の選定は、密を避けるなどの対策をして、委託の実施に向け、スケジュールに沿って進めていく。

【質問】 第5次長期総合計画に、北部地域の子育て支援機能を併せ持つ複合施設の検討は、なぜ記載がないのか。
【市長】 「公共施設マネジメントの推進」の一環として取り組んでいる。今後、具体的な計画を示せるようになった段階で、長期総合計画を補完する資料である予定事業一覧に反映させる。
【意見】 施政方針に示している。長期総合計画に反映させるべきであった。

諸課題への適切な対応を

中野 淳子
(市民とともに歩む会)



【質問】 本市での所有者不明土地について、①対応は、②課題は、③現状は、④所有者が死亡している場合は。
【答弁】 ①総合調整を企画調整課、地域福利増進事業に関する意見回答・土地所有者の探索に必要な情報の被請求主体を都市計画課、不在者の財産・相続財産の管理に関する民法の特例を環境政策課、土地所有者の探索に必要な情報の提供を市民課・課税課が対応する。②まちづくりに影響のあった事案はないが、発生した際は適宜対応する。③所有者が不明な土地を13筆把握している。④戸籍や住民票の調査、現地訪問し、相続人などの特定に努めている。

【質問】 2学期における感染症対策でこれまでよりも強化された取り組みは。
【答弁】 発熱・せき・息苦しき・倦怠感等の症状が見られた場合は登校しない、家族に感染またはその疑いがある場合は学校に知らせることを徹底した。

毎年起こる豪雨に備えて!

引間 太一
(ニューウェーブ)



【質問】 市内の土砂災害危険箇所について、①警戒区域の数は、②市民への周知は、③黒目川および落合川周辺の浸水予想区域や急傾斜地崩壊危険区域などを含めた周辺の住民に配布した「安心くるめ」登録案内のチラシについて伺う。
【答弁】 ①神宝町1カ所、金山町1カ所、浅間町3カ所、小山4カ所、南沢1カ所、野火止4カ所の計14カ所。②都が平成30年1月に土砂災害警戒区域の指定と公表を行ったことを踏まえ、市洪水ハザードマップへ反映、周知を行った。③対象となる下田自治会および富士ヶ丘自治会に7月下旬から配布を依頼するとともに、その他の対象地域への配布は職員が各家庭へ直接行った。河川・降雨の状況や避難所の開設、避難指示など情報を正確に遅滞なく取得でき、適切で速やかな避難行動につながることを記載している。

市政のここが聞きたい



東久留米市地域資源PRキャラクター

湧水の妖精
るるめちゃん

第3回定例会の一般質問は、9月3日・6日・7日の3日間でわれ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第3回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、11月下旬から、市ホームページ(PDF版は11月中旬)または、市立図書館、各コミュニティ図書館、市政情報コーナー(本庁舎1階)でご覧いただけます。

介護予防事業施策の充実を!

当麻 一哉
(自民クラブ)



【質問】 介護予防・日常生活支援総合事業における課題について、状況は。
【答弁】 支援強化型と支え合いの利用につながっていない要因として、利用者が認定申請を希望するケースや要支援認定を受けて総合事業型に移行するケースが挙げられる。また、支援強化型では、リハビリを継続利用したい思いが強くなり、要支援認定を受けるケースがある。このように提供事業者への利用がなげらぬ面があり、提供事業者数の伸び悩みが生じている。

【質問】 東3・4・13号線および3・4・21号線整備について、第1工区終点付近の安全対策など現在の検討状況は。
【答弁】 当該都市計画道路と市道25号線が交差する箇所については、小山通りと大円寺通りの狭い交差点の直近を通過することから、地理的な面も勘案し、交差点形状の改良などの検討を重ね、交通管理者と協議を進めている。

歩道の安全対策の強化を!

三浦 猛
(公明党)



【質問】 原則では自転車は歩道を走行できないことになっているが、一定の条件下の下、走行可能である。しかし、条件に関係なく走行している方もいるのが現実。中央図書館先の歩道上で、小学生の歩行者と大人の自転車の接触事故があった。現場は緩やかな坂道で自転車は急にスピードが出る所。以前、五小通りの歩道に路面標示を実施していただいた。看板よりも路面の方が自転車からは見えやすい。歩道の下り坂の部分に、自転車マークで「スピード落とせ」の路面標示等、具体的な対応ができないか。
【答弁】 現地を確認の上、必要により、歩道や河川の遊歩道などにおいて、歩行者優先を示す注意喚起の看板、路面標示物の設置の対応を行っている。今後も、これらの取り組みを進める。

【要望】 特に事故発生箇所については迅速な対応を要望する。

コロナ禍の学校と優しいまち創り

高橋 和義
(公明党)



【質問】 コロナ禍の小・中学校において、①1学期に学力の差が生じているか、②本市の教育方針の特徴は、③遅刻・欠席・早退などの届出をメールやフォーム入力などにできないか。
【答弁】 ①2月に実施した本市の学力定着度調査では二極化が見られる学校もあったが、学校・学年・教科により分布傾向が異なり、学力の差は生じていないと捉えている。②従前からICT機器活用等による多様な指導方法を行ってきた。学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や主体的・対話的で深い学びを実現することを大切にしている。③メールでの欠席届を対応している学校もあり、各校で共有したい。

【質問】 滝山五丁目商店街の歩道整備について、バリアフリーの観点からも通行しづらいなどの市民の声を聞くが。
【答弁】 交通安全対策やバリアフリーの観点なども含め、対応を検討している。

ブロック塀撤去費用の補助を!

永田 雅子
(日本共産党)



【質問】 ブロック塀撤去に掛かる費用の補助制度は、本市以外の都内25市がこれまで実施してきており、現在でも22市が継続している。本市も早期にこの補助制度を構築すべきと考えるが。
【答弁】 ブロック塀に関する補助制度を実施することは、現在の限られた財源の中では非常に難しいと考えている。引き続き、地震による人的・経済的被害を最小限にとどめるための効果的な周知方法や耐震啓発活動に取り組んでいきたい。

【質問】 この事業を実施した場合、都以外の補助金も活用できるのか。
【答弁】 国の社会資本整備総合交付金を活用できると認識している。
【質問】 国の補助金を活用した場合、自治体の負担は何割になるか。
【答弁】 自治体の負担は4分の1と認識している。
【要望】 ぜひ検討してもらいたい。

PCR検査の拡充を!

村山 順次郎
(日本共産党)



【質問】 体調が悪いときや濃厚接触者と接触したときなど、感染に不安のある市民が検査を受けられる環境が整っていないと言えない。東久留米市医師会と協議の上、市民を対象としたPCR検査の体制づくりを求めたい。
【答弁】 本市では、独自のスキームにより、介護・障害福祉サービス事業所等に対するPCR検査体制を確保してきた。現時点では、対象を拡大するなどPCR検査の拡充は予定していない。

【質問】 医療支援と食料支援等の生活支援、自宅療養者に対する支援をワンストップでできる体制づくりの検討は。
【答弁】 自宅療養者の急増によって、保健所あるいは自宅療養者フォローアップセンターからの連絡が遅れている間、患者の不安や体調悪化への適切な医療的対応を東久留米市医師会で担ってもらうことについて、市として補助する形で医療支援を進めていきたい。